

事業実績報告書

様式 2

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。(2021年度)

講座番号	B-18	講座名	りす山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」
記載日	2021/8/3	団体名・企業名	NPO法人えこども
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
東谷山をフィールドとした自然体験を通して、季節や時期によって多彩な自然が存在していることを伝えます。			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
5/22 土で耕す土で遊ぶ 耕した畝にサツマイモの苗を植える様子		7/17東谷山 朝のハイキング 朝の森で虫を発見！	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
NPO法人えこどもの環境大学の負担金を受けて獲られるゴールの1つにSDGs到達目標の15番陸の豊かさも守ろうがある。除草剤をまかないで子どもたちに安全に草遊び、土遊び、虫に触れ裸足で駆け回れる環境を提供しつづける為には、人の手による草刈りの重要性がある。中でもスタッフや参加者に呼びかけたのは、この環境はただ自然って気持ちいいよねだけでは獲られない、自然との共生、せめぎあいのわずらわしくて、手間のかかる日々の取り組みのおかげで成り立っている。ここには、草の中でもたちの悪い(人にとって)外来種のワルナスビがはえている。トゲは鋭く軍手も貫き、刈っても刈ってもはえてくる強さと毒性のある実をつけ種を撒き散らす。プロの農家に相談すると地下茎を枯らす除草剤をやりなさいと指導されるが、納得がいかないため一度も使用していない。参加者にもその事を伝え、子どもが安全に土に触れられるよう協力頂き、ただお膳立てされたアミューズメントパークではない、体験型環境教育の場である事を根っこの部分で紡いでこれた事で講座を毎年開催させていただけるのおかげで、大分環境が整ってきたように思います。			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)			
4/24「春の野草とチンキ作り」→子どもが自然の草花と触れ合い、楽しんでいて良かった。5/22「土を耕す 土で遊ぶ」→初めての経験ができ子どもたちが楽しそうだった。大人の方の支援も素敵だった。6/19「梅雨こそ森遊び」→子どもが理解して取り組みやすく、楽しめる内容だった。7/17「東谷山 朝のハイキング」→いつもはすぐに抱っこを求める子どもが自分で歩くと言ってビックリ。			